

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
4年 6月 1日	
静岡県知事	
川 勝 平 太 殿	
提出者	
住 所 静岡県富士市田中新田275番地の12	
氏 名 株式会社中村組	
代表取締役 井澤 省史	
電話番号 0545-33-0760	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 中村組
事業場の所在地	静岡県富士市田中新田275番地の12
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	資本金45,000千円 令和3年度完成工事高 40 億円
③ 従業員数	47人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり（図1）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり(図2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙1	
	排出量_	別紙1	
	(これまでに実施した取組) 分別しやすい荷姿にするように指導、また汚泥については専門車両を使用することを指導。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙1	
	排出量_	別紙1	
	(今後実施する予定の取組) 分別しやすい荷姿にするように指導、また汚泥については専門車両を使用することを指導。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別しやすい荷姿にするように指導、また汚泥については専門車両を使用することを指導。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別しやすい荷姿にするように指導、また汚泥については専門車両を使用することを指導。

別紙1 産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

①現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	6.0 t	26.9 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	10345.0 t	523.1 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	5.2 t	25.9 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶器くず	廃石膏ボード
	排出量	35.3 t	54.7 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	9.3 t	166.5 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光管（水銀使用）
	排出量	2.9 t	0.1 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	10 t	10 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	6,000 t	80 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	1 t	10 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶器くず	廃石膏ボード
	排出量	18 t	20 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	30 t	100 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光管（水銀使用）
	排出量	20 t	1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	該当なし	該当なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	該当なし	該当なし
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実績なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実績なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実績なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実績なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2	
	全処理委託量_	別紙2	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2	
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組) 実績にある業者へ委託		

別紙2 産業廃棄物の処理の委託のに関する事項

①現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	6.0 t	26.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	4.6
	再生利用業者への処理委託量	6.0 t	26.9
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	10345.0t	523.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3122.1t	116.4t
	再生利用業者への処理委託量	10345.0t	523.1 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	5.2 t	25.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	5.2 t	25.9 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶器くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	35.3t	54.7t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.3t	10.6t
	再生利用業者への処理委託量	35.3t	54.7t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	9.3t	166.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.9t	44.0t
	再生利用業者への処理委託量	9.3t	166.5 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光管（水銀使用）
	全処理委託量	2.9 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.9 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2.9 t	0.1 t
	(これまでに実施した取組)		
	実績にある業者へ委託		
	※事務処理覧		

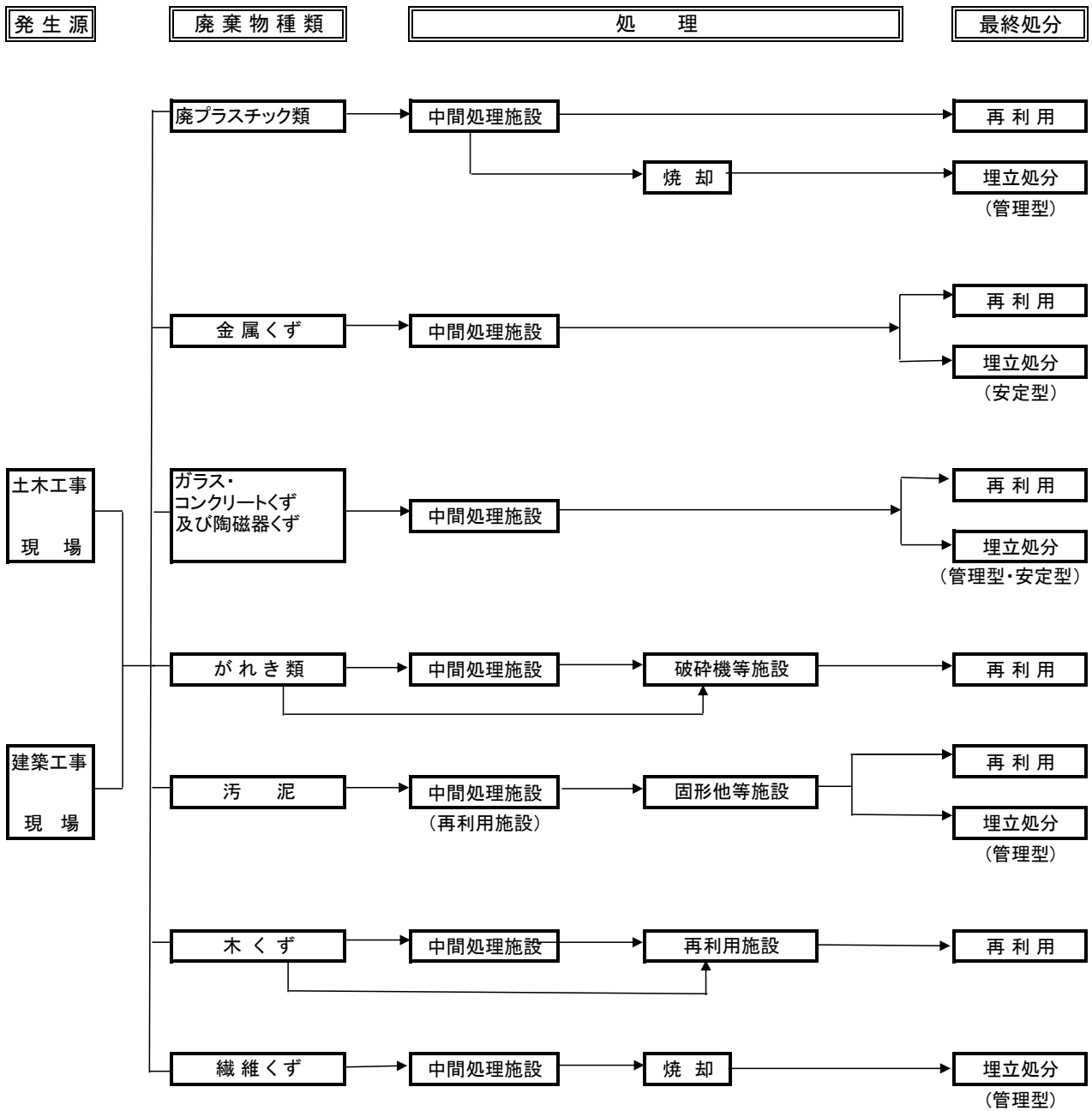
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3	—
	全処理委託量	別紙3 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実績及び優良認定処理業者への優先委託の検討		
※事務処理欄			

別紙3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	10 t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	10 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	6000 t	80 t
	再生利用業者への処理委託量	6000 t	80 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	1 t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	10 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶器くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	17 t	20 t
	再生利用業者への処理委託量	17 t	20 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	30 t	100 t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	100 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光管（水銀使用）
	全処理委託量	20 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	20 t	1 t
	(今後実施する予定の取り組み)		
実施及び優良認定処理業者への優先委託の検討			
※事務処理覧			

図 1

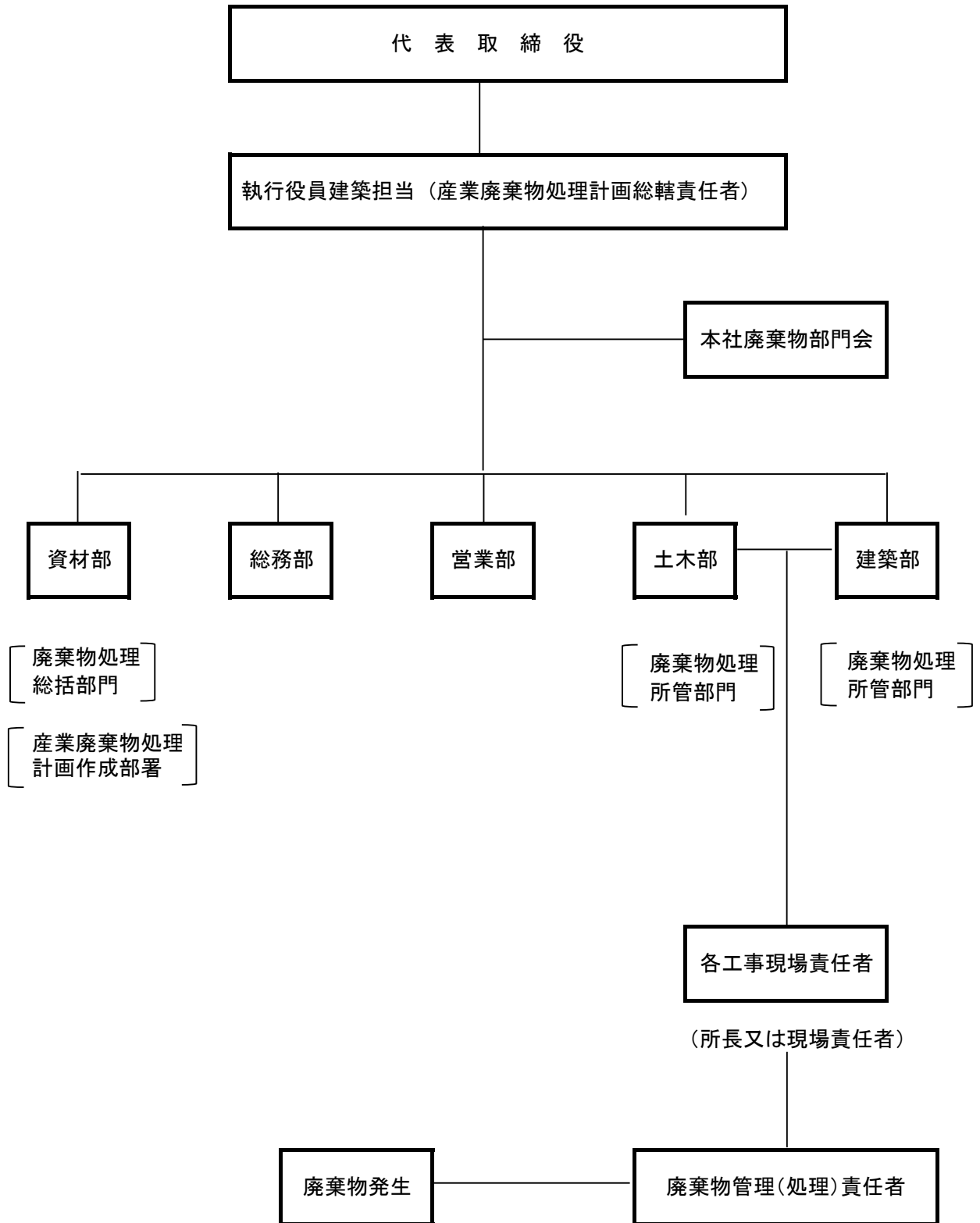
産業廃棄物処理工程表



上記について収集運搬・処理・処分のすべて少数を除き委託処理であります。

図 2

廃棄物管理体制図



処理計画書のもとに適正処理の推進・運営